

みんなとともに笑顔いっぱい - 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 -



# みんなとともに



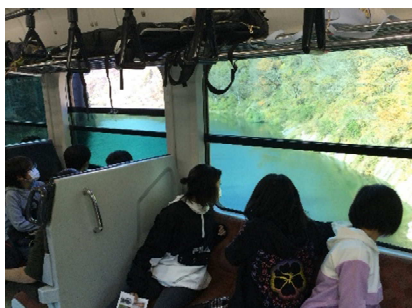
明日は「持久走大会」です。この日を目指して、子どもたちは、体育科の授業だけではなく、始業前の時間や休み時間も練習に励んできました。“持久走”は心肺機能を高める運動ですが、“大会”になると“他との競い合い”の面や“弱い自分の心との競い合い”の面もあります。「持久走大会」やそこに至る過程を通して、子どもたちの心身に「大きな成長」を見ることができれば、うれしく思います。



## プレイバック「修学旅行」 - 会津の旅 -

新型コロナウイルス感染症が収まったことで、安心して「会津の秋」を堪能できるこの時期を、最初から選んでいた本校の計画は、まさに“奇跡”です。(教務主任の早川先生の“先見の明”のおかげです)子どもたちの様子は、速報で「web ページ」に載せましたが、改めて振り返ってみることにします。

【1日目】「福蒔虚空蔵菩薩圓蔵寺見学(柳津町)」→「只見線乗車体験(金山町-柳津町)」→「赤べこ絵付け体験(柳津町)」→「大内宿自由散策(下郷町)」→「東山温泉 原籠 宿白」



左 「撫でたところがよくなる」という「なで牛」を、思い思いに撫でてきました。効果は現れたかな？  
中 「只見川」の景色を堪能しました。鉄橋を通るたびに、紅葉と只見川のコラボが迫ってきました。  
右 よく見てください。テーブルの上の板には「美人専用」と書かれています。美人がたくさんいました。

【2日目】「鶴ヶ城天守閣見学」→「会津若松市内フィールドワーク」(会津若松市)



左 本校定番の場所から記念撮影した1枚です。同行の写真屋さんが“場所代”を払って撮影しています。  
中 飯盛山の石段を“ダッシュ”で上ろうとするのは、さすが「陸上清明」です。私には無理です。  
右 移動には「ハイカラ号」と「あかべえ号」を使いました。年上の方に“席を譲る姿”も見られました。

### 【校長のつぶやき】 その97 「旅はいつも おもしろい」

校長になってから、すべての「修学旅行」と「宿泊学習」の引率を行ってきた…はずである。それが「校長の仕事」だと思っているからである。旅にハプニングは“つきもの”である。体調をくずす子はいるし、ケガをする子もいる。事故にあうこともある。そんなときに「どう対応するか」の判断を適切に下すためには、校長が近くにいる方がよい。(学校の子どもたちは教頭先生に任せても、いつもの延長線上で判断はできるであろう。)

と格好をつけたが、ついていくのは、ただ単に“おもしろい”からである。引率をする最大の“おもしろさ”は、子どもたちの「新たな一面」を発見できることである。今回の旅でも、「社会の約束を守る節度ある姿」「まわりの人々への礼儀正しい姿」「仲間と仲良く協力する姿」など、子どもたちの「よさ」をたくさん感じてきた。それを表現する何かうまい言葉がないかを考えていたが、浮かんだのは「品格」である。これまで「陸上清明」や「清明魂」などの言葉を使ってきたが、今回の旅で「清明の品格」という新たな言葉がかわった。